



▲少年の部で見事な歌声を披露し、優勝した伊藤蘭さん（登米）

伸 南方で長持唄の全国大会 びのある声で唄の競演

古くから歌い継がれ、婚礼の席に欠かせない「長持唄」の全国1位を競う「第9回みやぎ長持唄全国大会」（同実行委員会主催）が11月23日、南方公民館（農村環境改善センターホール）で開催されました。大会には、県内をはじめ愛知県や石川県など全国各地から124人の選手が参加し、「少年の部」「熟年の部」「一般の部」に分かれて日ごろ鍛えた自慢の伸びのある歌声や節回しを披露しました。次々と披露される見事な歌声に、訪れた観客からは盛大な拍手が送られていました。

郷 東京いしこし会総会・交流会 土の唄と酒に古里を思う

東京いしこし会主催の「第16回東京いしこし会総会・交流会」が東天紅上野店（東京都台東区）を会場に11月28日に開催され、石越出身の在京者や関係者など約100人が参加しました。交流会では、石越民謡同好会の皆さんによる郷土の民謡の披露や、いしこし会囃子によるよさこいの演舞などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。また、会場内では、石越の地酒「澤乃泉」の飲み交わしや、近況を語り合う姿がこちらこちらで見られるなど、参加者は一年に一度の総会・交流会を楽しんでいました。



▲参加者も一緒になってよさこいを踊り、会場は多いににぎわいました

み 迫老人クラブ連合会「芸能大会」 みんなが主役の芸能大会

今年で28回目を迎え、毎年の恒例行事となった迫町老人クラブ連合会主催の芸能大会が12月11日、北方公民館を会場に約250人の会員が参加して開催されました。芸能大会では、各団体が舞踊やダンス、歌謡など、日ごろの活動の成果をステージで披露し、素晴らしい演技の連続に、会場はとても盛り上がりました。また昼食時には、ボランティアグループ「ゆずり葉の会」の皆さんから、温かい豚汁が振る舞われるなど、参加した皆さんは終始楽しい時間を過ごしました。



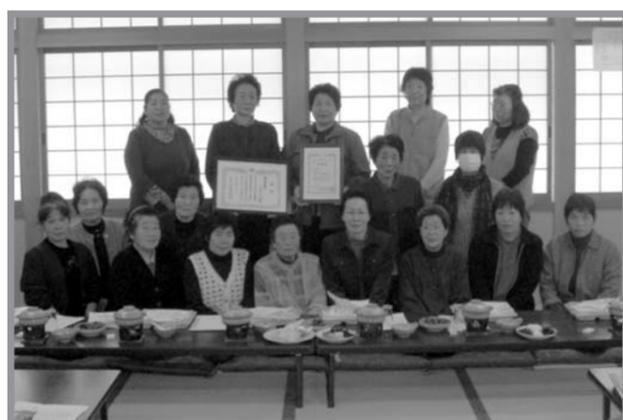
▲各団体の素晴らしい演技に、会場からは大きな拍手が送られました



▲地元産の食材や米粉を使い、楽しみながら調理をする参加者

料 中田で米粉を使った農産加工講習会 料理を通じ米粉の良さを学ぶ

中田町農産加工クラブ連絡協議会加工講習会が11月25日、石森ふれあいセンターで開催されました。この講習会は地域内農産物を活用した安全な農産加工品の普及を目的に行われていて、講習では協議会の小野寺会長と、会員で米粉創作料理コンテストで料理長賞を受賞した河原早苗さんを講師に、市産の米粉を使った3品目の実習を行いました。中田の特産品であるキュウリとリンゴを使ったケーキは、食材の緑色と赤色が鮮やかで食感も良く、会員は「手軽なので家でも作ってみたい」と話していました。



▲活動が評価され奨励賞を受賞したカタクリの里運営委員会の皆さん

今 東和「農村漁村いきいきシニア活動表彰」 後のさらなる活動を誓う

農村漁村地域で、いきいきとしたシニア活動を展開している団体に贈られる「農村漁村いきいきシニア活動表彰」に、直売所カタクリの里運営委員会が県代表として推薦され奨励賞を受賞しました。その受賞祝賀会が12月13日に東和町米谷の「ろくしち会館」で開催され、鈴木会長は「今回これまでのわたしたちの活動が認められたのはうれしい。今後なお一層地域のため活動していきたい」とあいさつしました。その後、会食をしながら、いままでの反省点や今後の目標などについての意見を交わしました。

幻 津山もくもくランドライトアップ 想的な光が冬の夜空を彩る

津山もくもくランドの冬を彩るイベント「もくもくランドライトアップ」が12月6日から1月3日まで開催されました。初日の6日にはオープニングイベントが行われ、つやま幼稚園の代表園児による点灯式では、約2万個のイルミネーションに一齐に光りがともりキラキラと幻想的な風景が広がりました。その後、つやま幼稚園児によるハンドベル演奏や、杉の実コーラスによる歌が披露され、会場は温かな雰囲気に包まれていました。期間中は多くの人が訪れ、美しいイルミネーションを楽しんでいました。



▲園児によるハンドベルの演奏が、澄んだ夜空に響き渡りました。